

5 本時(17時間目)の学習指導

- (1) 目標 ・ある数を「1つ分の大きさ」の「幾つ分」に気をつけ、ブロックの操作や図や式に表しながら調べる活動を通して、かけ算の意味の理解を深め、かけ算のよさに気付くことができる。
 ・友達との話し合いの中で、同じ数でも「1つ分の大きさ」が変われば、何通りものかけ算の式で表されることに気付くことができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共感性
<p>1 前時までの復習をする。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <p>(1) 自分の考えを、自分なりの方法で表す。</p> <p>(2) ペアの友達に紹介する。</p> <p>3 かけ算の式の表し方について、みんなで話し合う。</p> <p>4 18個の場合の並べ方をかけ算の式に表す。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>確かめる</p> <p>ふりかえる</p>	<p>何の幾つ分かよく見れば、習ったかけ算の九九で何個あるかすぐ分かるよ。</p> <p>ばらばらになっているものは数えにくいな。かけ算が使えるようにきれいに並べよう。</p> <p>どんぐりをかけ算の式で数えられるようにならべよう。</p> <p>同じ数ずつまとめて、幾つ分できるか考えるといいんだな。</p> <p>2個ずつかたまりを作ったら、6つ分できたよ。だから 2×6 だよ。</p> <p>3個ずつで図をかいたら、4つ分だ。 3×4 になるよ。</p> <p>ブロックを並べてみると・・・4個ずつでも・・・6個ずつでも・・・できそうだな。</p> <p>・どんぐりの数の12個は、いろんなかけ算の式で表せるよ。 ・ 3×4 と 4×3、2×6 と 6×2 は、かける数とかけられる数が反対だ。 ・ 何の幾つ分あるかを考えると、かけ算が使えてたし算よりはやく数が数えられるよ。 ・ さんは、きれいに四角に並べているから、もっと数え易そうだな。</p> <p>・ 18個でもできそうだよ。2個ずつでも、3個ずつでも・・・ ・ 6個ずつや9個ずつ並べた時でも、かけ算になりそうだよ。</p> <p>・ 同じ数でも、1つ分の数が違うと、いろんなかけ算で表せるよ。 ・ たくさんあるものは数えにくいけれど、同じ数のかたまりを作ってきれいに並べると、かけ算が使えてはやく正確に数えられるよ。便利だな。 ・ もっと大きな数のかけ算をマスターすると、もっと便利になりそうだな。</p>	<p>・フラッシュカードで既習のかけ算が使える数あてクイズをし、「1つ分の数」×「幾つ分」を意識して数を見ることを確認する。</p> <p>課 幾つ分がはっきりしないランダムに並んだ12個のどんぐりの図をフラッシュカードで見せ、「なぜ数がすぐに数えられないか」考える場を設定する。その際、導入のフラッシュカードの数の並び方とどんぐりの並び方の違いを比べ「同じ数ずつ、きれいに並べると、かけ算が使える」ことに気付かせ、児童が本時の学習課題について把握できるようにする。</p> <p>見 既習の内容や考え方を補助黒板に残しておき、解決へのヒントとなるようにする。自分の考えを作る時の方法として、半具体物や図で考えたり、言葉でまとめたりする方法を紹介する。</p> <p>・自分の考えをもちにくい児童には、オープンスペースで実際にどんぐり等を動かす操作活動を取り入れ、「1つ分の数」と「幾つ分」がとらえやすいように支援する。</p> <p>・「10とばら2」という数え方の児童には、既習の方法を生かしている点について認めた上で、本時の学習課題の「かけ算」で考えるよう助言する。</p> <p>評 自分なりの方法で調べ、「1つ分の数」の「幾つ分」に目をつけて、かけ算の式に表し、ペアの友達に紹介できたか。</p> <p>共 友達の説明に関心をもち、自分との異同に気を付けてよく聞くために、聞く視点「ちがうところ・おなじところ・いいところ」を確認する。また、自分が考えていたかけ算を発表した友達の名前をワークシートにメモしながら聞くようにする。</p> <p>評 友達の考えに関心をもって聞き、考えの異同を見つけることができたか。</p> <p>・かけ算の式を発表させて、他の数でもいろいろな式に表されることをおさえ、かけ算の意味理解の定着を図る。もし、分割し2つのかけ算の和で表している児童がいれば、発展的な考えとして紹介する。</p> <p>共 課 本時の自分の課題解決への取り組みや友達のがんばりについて気付いたことを振り返りカードにまとめるようにする。</p> <p>・児童の「算数日記」から、給食の牛乳パックの数など全体の数がはっきりしない物を同じ数ずつ並べ直してかけ算を使っている生活場面を紹介し、かけ算のよさを感じ取らせるとともに、6の段の九九(かけ算(2))からの学習への意欲を高めたい。</p>